

中学校 第1学年 社会科（地理的分野）学習授業案

平成27年11月18日水曜日 第6校時

生徒数

場所

授業者

1 単元名

世界に大きな影響力をもつ北アメリカ（「中学社会 地理」教育出版 p74～85）

2 単元観（キャリア教育の視点を含む）

（1）教材観

本単元は、学習指導要領地理的分野の（1）世界の様々な地域「ウ 世界の諸地域」の（エ）北アメリカにあたる。ここでは、世界の各州を対象として、それぞれの州内に暮らす人々の生活にかかわり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的な観点から州内の特色ある地理的事象を基に主題を設定し、その追究を通してそれぞれの州の地域的特色を理解させることをねらいとしている。そこで、例えば主題を「世界に大きな影響力をもつ北アメリカの背景を探ろう」と設定し、北アメリカの農業生産力や工業生産力の高さの背景を追究していく。アメリカ合衆国、カナダの世界貿易に占める地位、小麦やトウモロコシの生産と貿易、農産物の生産分布、工業都市の分布、農産物・工業製品の流通システム及び大量消費する人々の暮らしなどを追究すると、巨大な生産と消費の人々の生活様式が分かり、北アメリカの地域的特色の理解につながる。

本単元までに、アジア州とアフリカ州、ヨーロッパ州の特色について学習している。その際、地理的事象を取り上げる際には、広範にみられる特色ある地理的事象を取り上げてきた。世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活と環境の多様性について学習した。

また、キャリア教育の視点では、1学期に人々の生活と環境という単元の「さまざまな言語と人々の暮らし」という内容を通して、世界にはさまざまな民族が暮らしており、多様な言語、文化が形成されていることを学習した。世界各地で使われている言語に焦点をあて、世界の様々な文化に関心を持たせ、お互いが認め合い共存していくためには何が必要であるかを考えさせた。そして、グローバル社会の一員として生きていく自分達にとって互いを認め共存していくためにはコミュニケーションが必要であり、そのコミュニケーションツールとしての言語の必要性を理解させることで、人間関係形成能力や社会形成能力の向上を図った。本単元においても、多様な文化の存在を認識し互いを認め共存していこうという態度を養っていく。

（2）生徒観

本学級の生徒は、社会科に興味・関心の高い生徒もいるが、基礎的な知識が定着しておらず地理的な概念がイメージしにくい生徒もいる。

標準学力調査（平成27年5月実施）の結果によると、総合正答率が57.1%であり、目標値（59.7%）にほぼ近い数値であった。4つの観点においてもほぼ全国平均に近い数値であるが、社会的な思考・判断・表現の力が他の観点に比べ低くなっており、49.4%という結果となっている。1学期の期末テストにおいても、思考・判断・表現の項目で正答率30%未満の生徒がいる。

また、少人数で比較的男女の仲も良い集団であるが、互いの良さを認め合うという部分ではまだまだ弱い面がみられる。

### (3) 授業観

本校の研究テーマは「自他を認め自己を適切に表現できる生徒の育成」である。教科全体を通して、言語活動を充実させ、表現力の育成につなげることがねらいである。具体的には、さまざまな資料から情報を読み取り、それを基に自分の考えを発表することや文章で表現し、グループでの意見交流などを通してより考えを深めることである。

本単元の北アメリカ（主にアメリカ合衆国）は生徒にとって他の州に比べてよく知っている地域であると考えられるため、私たちの生活にアメリカの文化が広まっていることに気づかせ、関心・意欲をさらに高めたい。その際、自然環境や歴史的背景を学習することで、既習の知識と結びつけて、理解を深める。また、他の州と同様に、自然、産業、生活・文化、歴史的背景などについて概観し、地域的特色を理解するための基礎的・基本的な知識を確実に身に付けさせる。

そして、世界に影響力を与える北アメリカの自然環境や歴史や文化の多様性にふれながら、格差社会と貧困の課題を追究し、北アメリカの地域的特色を発表することやワークシートへの記述を通して表現していく。思考力や表現力が身に付いている生徒もいるが、主語がないなどの文章の組み立て方に課題がある生徒もいるため、個別の指導や細かな評価を加えていきたい。

多様な民族や文化を知るとともに、人は一つの考え方や文化で生活しているわけではないことを理解させる。カナダの多文化主義の政策を知ること、自分たちの多様な文化の存在を互いに認めて共存していくことの大切さは自分たちの学級や地域にも置き換えられることに触れる。違う考え方や文化であってもコミュニケーションを取りながら互いを理解しようとする中でよりよく共存していくことができるということを学ばせ、自分たちの生活に反映させたい。

### 3 単元の目標

- (1) 北アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究する。
- (2) 北アメリカ州の地域的特色を、北アメリカに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 北アメリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。
- (4) 北アメリカ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。

#### ○キャリア教育の視点でのつきたい力

他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。他者と協力・協働して物事に取り組もうとする。 **【人間関係形成能力・社会形成能力】**

### 4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解
北アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	北アメリカ州の地域的特色を、北アメリカに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	北アメリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	北アメリカ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。

5 授業と評価の計画（全7時間）

時数	○学習内容	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	○北アメリカ州の歴史と自然環境を大観し、北アメリカを構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ・北アメリカをながめて	◎			○	・北アメリカ州の地勢と国々に対する関心を高め、北アメリカ州の自然環境や歴史の特色をとらえようとしている。 ・北アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を理解している。	・観察 ・ワークシート
2	○アメリカ合衆国で大規模な農業経営が行われていることを資料から読み取り、自然環境と農業地域の分布の関係について考え、表現する。 ・世界の食糧庫		○	◎		・アメリカ合衆国の農業地域の分布をさまざまな資料を基に有用な情報を適切に選択し、地域的特色を読み取っている。 ・アメリカ合衆国の自然環境や社会条件と、農業分布の関係について考察し、説明している。	・観察 ・ワークシート
3	○アメリカ合衆国の工業生産と工業地域の特色を理解し、経済のグローバル化が進むなかで、先端技術を生かした産業が発達した理由について考え、表現する。 ・世界の最先端をゆく工業	○	◎			・経済のグローバル化が進むなかで、先端技術を生かした産業が発達した理由について考察し、説明している。 ・アメリカ合衆国の工業生産と工業地域に対する関心を高め、その特色をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート
4	○アメリカ合衆国が世界最大の経済力と影響力をもつことや、巨大な多国籍企業の経済活動や金融のしくみについて理解する。 ・世界をリードする北米経済			◎	○	・アメリカ合衆国の経済や金融が世界に与える影響についてさまざまな資料を基に有用な情報を適切に選択し、地域的特色を読み取っている。 ・アメリカ合衆国が世界最大の経済力や影響力をもつことや巨大な多国籍企業の経済活動について理解している。	・観察
5	○アメリカ合衆国の都市生活や合理的な文化の特色を知り、世界中に影響を与えていることを理解し、身近な生活のなかにみられるアメリカ文化を表現する。	○			◎	・アメリカ合衆国の文化の特色を理解し、その知識を身につけている。 ・アメリカ合衆国の都市生活や合理的な文化に対する関心を高め、世界各	・観察 ・ノート

	・都市生活とアメリカ文化				地に広まっていることをとらえようとしている。	
6	○多民族・多文化が共存するためには、どのような課題があるか、考察し、説明する。アメリカ合衆国の人種差別や貧困の問題をさまざまな資料を基に有用な情報を適切に選択し地域的特色を読み取る。 ・多民族の共存と貧困	◎		○	・多民族・多文化が共存するためには、どのような課題があるかを考察し、説明している。 ・アメリカ合衆国の人種差別や貧困の問題をさまざまな資料を基に有用な情報を適切に選択し地域的特色を読み取っている。	・観察 ・ノート ・ワークシート
7 本時	・多民族が共存していくためには何が大切であるかを考え、他者の意見を取り入れながら、自分の意見を表現する。	◎			・多民族が共存するために大切なことは何かを考え、その過程や結果を適切に表現している。	・観察 ・ワークシート

## 6 本時の学習(7/7)

### (1) 本時の目標

- ・多民族が共存していくためには何が大切であるかを考え、他者の意見を取り入れながら、自分の意見を表現する。

### (2) 本時の評価規準

- ・多民族が共存するために大切なことは何かを考え、その過程や考察を適切に表現することができる。  
(思考・判断・表現)

### (3) キャリア教育の視点でのつきたい力

- ・世界各地の人々の生活や環境の多様性について理解し、共存していくために必要なことを考える。
- ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする態度を養う。

【人間関係形成能力・社会形成能力】

### (4) 学習の展開

	学習内容 学習活動	留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 前時の確認	○支援・指示等 ◇努力を要する状況と判断される生徒への手立て ◎十分満足できる状況と判断できる生徒への指示 ☆キャリア教育の視点での留意事項	
展開	2 課題の設定	○本時のめあてを提示する。	
めあて 多民族がともに暮らしていくために大切なことは何だろう？			

	<p>3 多民族が共存するために、大切だと思うことをワークシートに書く。(個人思考)</p> <p>4 グループで意見交流する。</p> <p>5 意見交流したあとに、他者の意見を参考にしながら、自分の考えをきちんとまとめる。</p> <p>6 自分の意見を発表する。</p>	<p>☆○多民族が共存するために大切だと思うことをワークシートに書かせる。 ○なぜそう考えるのかという理由も書かせるようにする。 ○◇机間指導を行い、生徒の意見を把握するとともに、個別指導を行う。 ○前時までの学習内容（多民族が暮らす現状や課題）を思い出させるように、発問や補足の説明を加えながら、考えさせる。 ●生徒から出てくると予想される考え ・相手の文化を知る。または取り入れる。 ・仲良くする。(交流する。紹介し合う。教え合う。認め合う。) ・賃金格差をなくすための政策を考える など</p> <p>○自分の考えになかった意見などは、ワークシートにメモさせておく。</p> <p>○☆多民族が共存するために、大切なことは何かを考えさせる。 ●生徒から出させたいこと ・相手を知ること、違いを認めること。 ・相手の意見を尊重すること。 など ○◇机間指導を行い、生徒の意見を把握するとともに、個別指導を行う。 ○なぜそう考えるのかという理由も書かせるようにする。</p> <p>○全員に発表させる。</p>	<p>・多民族が共存するために大切なことは何かを考え、その過程や結果を適切に表現することができる。(ワークシート・発表)</p>
<p>まとめ</p>	<p>7 振り返り 本時の授業で分かったことや気づいたことをワークシートに書く。</p> <p>8 授業アンケートに記入する。</p>	<p>○ワークシートにできるだけくわしく文章で書かせる。</p>	